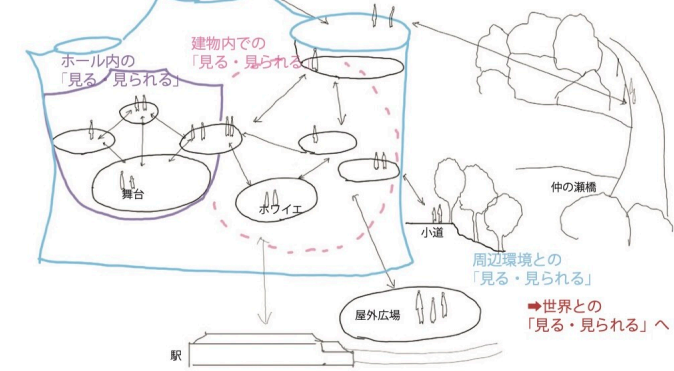


だれもの舞台・世界の舞台 ～「見る・見られる」の重層化～

concept

訪れるだれもが自由に過ごし、表現し、感じられる場をつくります。従来のコンサートホール空間での「演者と観客」という関係性にとどまらず、だれもが表現者でもあり観客でもあるような「だれもの舞台」をつくります。また、文化系エリア・震災メモリアル系エリア・広場エリアの分野を超えた偶発的な体験を促し、本施設の潜在的な特徴を補完し建設目的を強固にします。

diagram



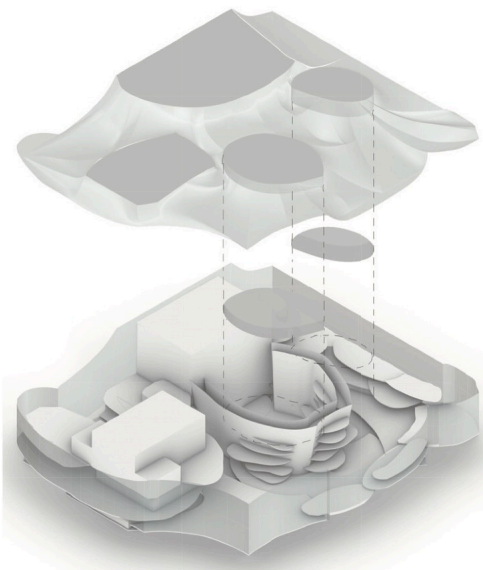
①「見る・見られる」の関係性
従来のコンサートホール空間においては、演者と観客、或いは観客どうしの「見る・見られる」関係性が臨場感や一体感を高めます。この関係性に注目しました。

②「見る・見られる」をホールの外へ拡張
ホール内にとどまらず、ホール外側のホワイエや広場空間に「見る・見られる」空間をつくり、だれもが表現者になれ、訪れた人が偶発的に他者の表現に出会える場をつくりました。また、文化系エリア・震災系エリア・広場系エリアの相互間に「見る・見られる」関係性をつくり、分野を超えた体験をうみます。

③「見る・見られる」を周辺環境と建物の関係にも拡張
さらには周辺環境との間や、中ノ瀬橋との間にも「見る・見られる」の関係性を拡張し、周辺を散策する人々が気軽に立ち寄れたり、遠くから本施設を見た人の視線をひきつけます。

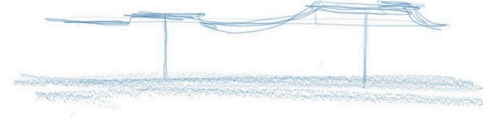
空間構成の手法

①空間構成
大ホールコアと、小ホール+リハーサル室からなるコアをつくり、ふたつのコアから床をせりださせて必要な機能や室を配置しました。バルコニーのようにせりだした空間は、互いに「見る・見られる」関係をうみます。またホワイエや屋内広場をみおろすようになり、ホワイエや屋内広場はまるでホール外部の舞台のようになります。



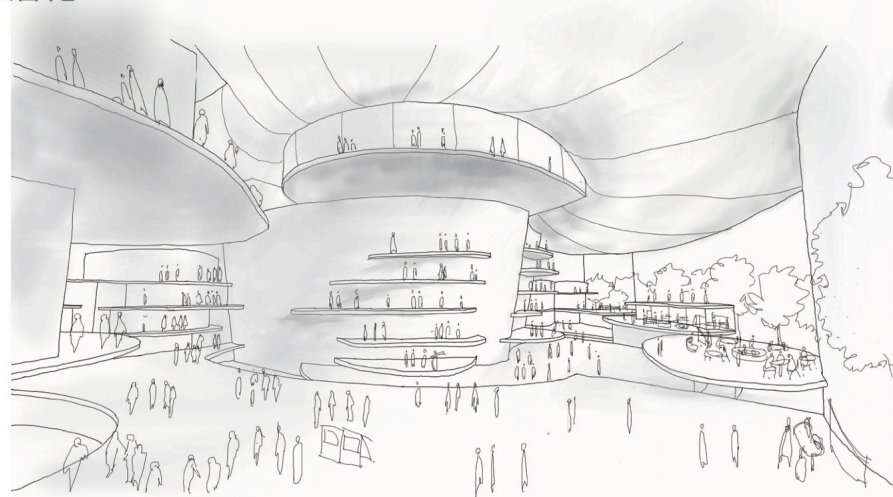
アイソメトリック図

②多様で偶発的な表現の場
例えばホールでの講演のない日に、学生がホワイエで演奏しそれを偶然居合わせた人や震災企画展を見に来た人が体験します。ホールとストリートの間のような、気軽な表現の場がうまれます。たくさんのバルコニーで様々な活動がされているのがよく見え、偶発的に興味をもったり立ち寄ったりする動機づけとなります。



空間ストラクチャースケッチ

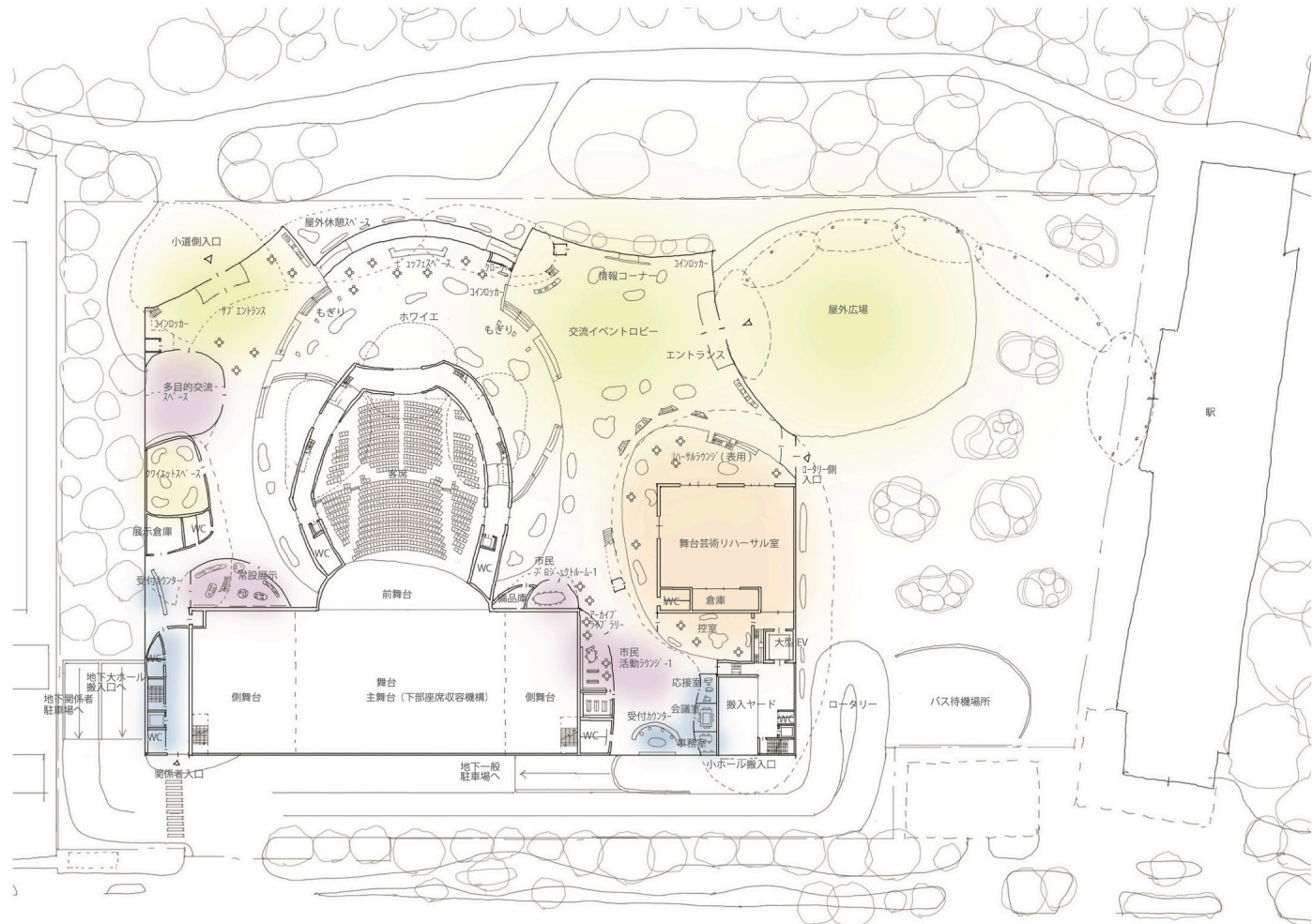
③外観デザイン
外観も同様のルールでデザインしました。コア上からスラブをせりださせ、そこからドレープのように流れるガラス屋根によって浮遊する舞台のような特徴的な外観としました。



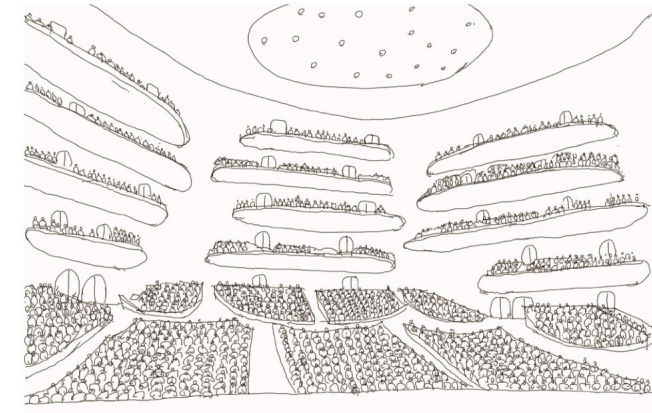
交流イベントロビーからみた内部空間。せりだしたバルコニー状の床のうえで行われている活動がよく見えます。練習室に来た人が震災プロジェクトルームの活動を見て興味をもったり、震災展示を見に来た人が交流イベントロビーでの気楽な演奏を見て立ちどまったり、多様で偶発的な体験がうまれます。ホワイエや交流イベントロビーは、カジュアルな舞台として市民の表現の場となります。



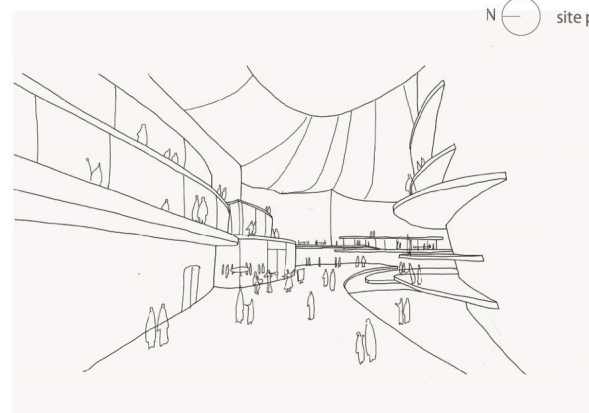
仲ノ瀬橋からのイメージ。社の中に浮遊する舞台のような外観。市民の表現の場であり、同時に仙台を代表するコンサートホールであることを象徴します。屋根のドレープ部と壁はガラスを多用し、内部の雰囲気外に漏れだします。象徴的な形状と同時に気軽に訪れやすい軽やかな雰囲気としています。



site plan 1/600



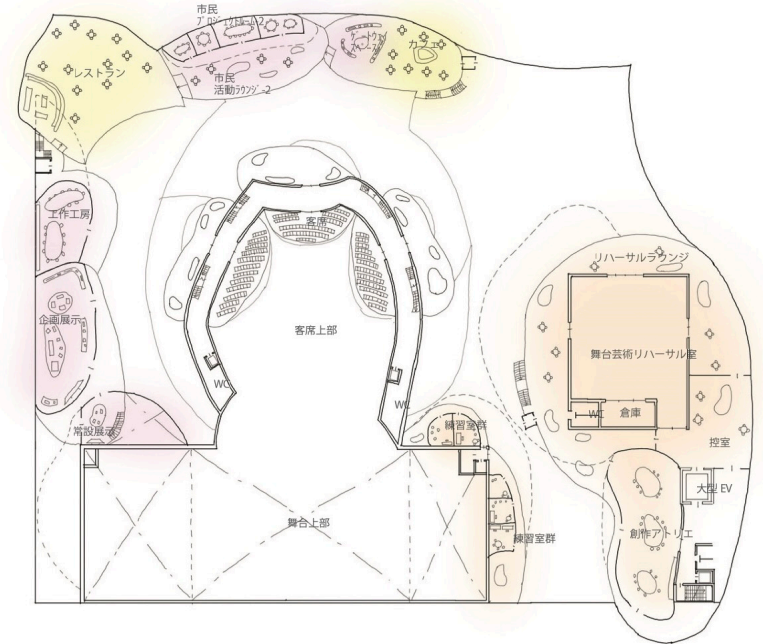
大ホール客席のイメージ。バルコニー席は、形状に変化をもたせて、動きの感じられる空間とした。天井部分は建物全体の外観と同様のデザイン手法とし、天井中心部の音響反射板からドレープ上に広がるデザインとしました。各階のバルコニー席群はホール外部にそれぞれ専用のはね出しバルコニー型ホワイエを設け、休憩の度に上下移動することなく、くつろぎ語り合うことができる場を設けました。



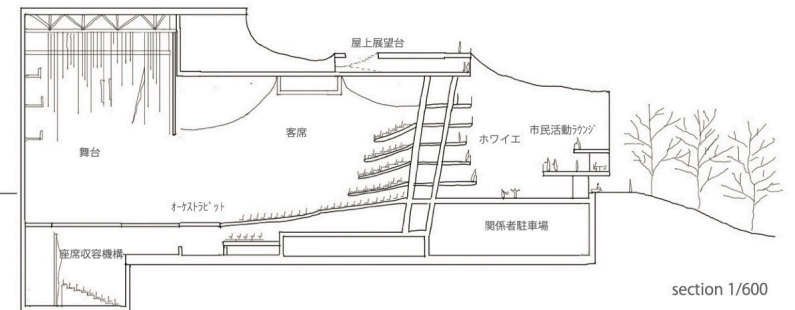
震災メモリアル拠点のイメージ。広い通りの片側に震災関連の室があり、向かい側がホール外部バルコニーとし、コンサート客の休憩時に震災エリアの活動をが目に入ります。正面奥に市民プロジェクトスペースと活動ラウンジがあり自発的な活動の活気も伝わってきます。一階では、広い通りをいかして音楽と震災の融合イベント開催もできます。



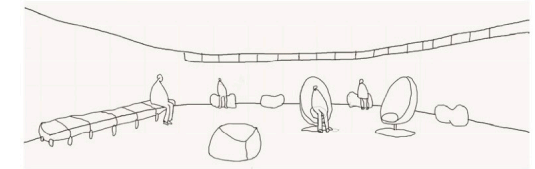
外観イメージスケッチ



upper plan 1/600



section 1/600



クワイエットスペース内のイメージ。平面形状は台形の角を落とした曲面とし、やわらかく落ち着いた空間をつくります。北面ハイサイドライトで自然光をとりこみ、外部からの視線を遠りつつ適度な明るさを確保します。アクセスしやすい一階に配置し、立ち着きやすいように少し奥まった場所、かつ震災展示エリアの近くとしました。